

一般会計の概要

昭和61年度の当初予算は前年度に対し3.3%減でスタートしました。その後の補正で最終的な一般会計の決算額は、入ったお金(歳入)24億9755万2千円、出たお金(歳出)24億5597万6千円で、差し引き4157万6千円の黒字となり翌年度に繰越されました。また、この決算額は前年度に比べ、歳入で8.3%、歳出で8.2%のそれぞれ減となりました。



出たお金(歳出) <目的別>

出たお金(歳出)を見てみると、目的別では前年度同様、小須戸小学校改築事業のあった教育費が全体では26.2%、6億4255万6千円でトップでした。次に借金返済(公債費)が3億6170万6千円、14.7%で、前年度より8724万円の増となりましたが、これは将来のことと考えて繰上償還を行ったことによるためです。続いては、町の道路の舗装や改良、都市街路、住宅、除雪などの土木費が3億4332万5千円、14%を占めています。続いては、農林水産業費、2億5643万3千円、民生費2億5422万7千円でした。町民1人あたりに使われた費用は23万1761円で、皆さんが納められた税金の約5倍になります。1世帯あたりでは97万742円使われたこととなります。

出たお金 <性質別>

出たお金(歳出)の性質別を見てみると、普通建設事業費が前年度と比較して減となりました。小須戸小学校改築事業費の減や、中学校の大規模改修事業費がなくなったためです。また、義務的経費が(人件費、扶助費、公債費)38.6%となり、年々多くなっています。



<目的別>

出たお金
24億5,597万6千円
1人あたり
231,761円

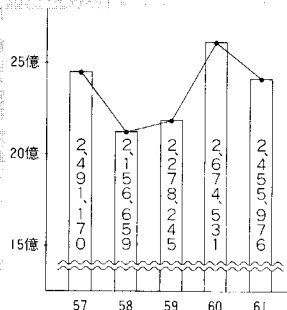
教育費 60,636円 (26.2%)	小中学校幼稚園にかかる経費及び公民館など社会教育費
公債費 34,133円 (14.7%)	町の借金の返済金
土木費 32,398円 (14.0%)	道路や水路整備事業、住宅、除雪にかかる経費
農林水産業費 24,199円 (10.4%)	農業振興及び農道林道などの整備事業
民生費 23,990円 (10.4%)	社会福祉、老人福祉及び保育所にかかる経費
総務費 23,013円 (9.9%)	総務管理費、税務、戸籍、選挙などの経費
衛生費 10,600円 (4.6%)	各種検診及び白根衛生センターへの負担金
商工費 8,744円 (3.8%)	産業育成資金・中小企業育成資金や商工業振興のための補助金など
消防費 7,605円 (3.3%)	白根地区消防事務組合への負担金や消防団の経費など
議会費 5,868円 (2.5%)	議会の運営に関する経費
その他 575円 (0.2%)	

<性質別>

普通建設事業費 25.0%	人件費 22.3%	①	②	③	④
6億1,321万4千円	5億4,760万1千円				
普通建設事業費 38.9%	人件費 19.5%	⑤	⑥	⑦	⑧
10億3,939万1千円	5億2,031万7千円				

① 公債費 14.7% 3億6,170万6千円
 ② 物件費 11.7% 2億8,828万7千円
 ③ 補助費等 7.7% 1億8,801万6千円
 ④ その他 18.6% 4億5,715万2千円
 ⑤ 公債費 10.3% 2億7,446万6千円
 ⑥ 物件費 9.7% 2億6,058万8千円
 ⑦ 補助費等 7.8% 2億,803万5千円
 ⑧ その他 13.8% 3億7,173万4千円

決算額の推移



小須戸町の 家計簿

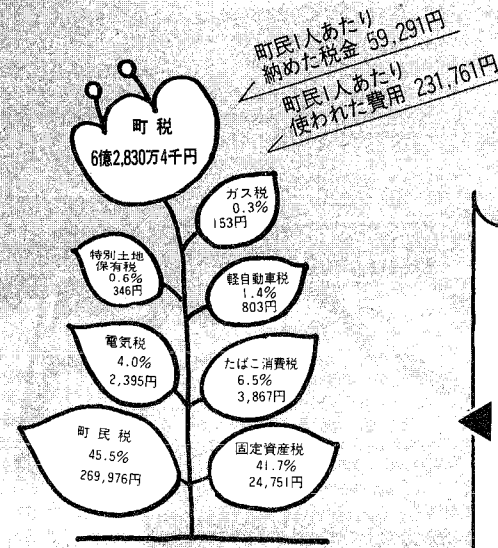
入ったお金
24億9,755万2千円
1人あたり
235,685円

地方交付税 77,855円 (33.0%)	町の財政力に応じて国から交付されたもの
町税 59,291円 (25.2%)	皆さんが納めた税金
諸収入 21,333円 (9.1%)	住宅や地方産業育成資金など貸付金の元利収入
国庫支出金 20,202円 (8.6%)	事業に対する国からの補助
町債 13,759円 (5.8%)	町の借金で建設事業をするときに借りましたお金
県支出金 12,953円 (5.5%)	事業に対する県からの補助
繰入金 12,216円 (5.2%)	基金からの繰入金
使用料・手数料 6,750円 (2.9%)	住宅の使用料や保育料各種証明手数料等
繰越金 4,717円 (2.0%)	60年度から繰越されたお金
地方譲与税 2,240円 (0.9%)	自動車重量譲与税、地方道路譲与税
その他 4,369円 (1.8%)	財産収入など

昭和六十一年度の決算が公表されましたので紹介します。今年も町の財政状況を分かりやすくするために、入ったお金、出たお金を一人あたりの数字におきかえてみました。皆さんの納めた税金がいくらくらいなのか。借金をいくらしているのか。町づくり、人づくりにどのように入ってお金が使われているのかがご覧ください。

入ったお金(歳入)

町に入ったお金(歳入)では全体で24億9755万2千円で、その中で町税、諸収入、繰入金など、自分の町で確保できるお金(自主財源)は45.5%となりました。地方交付税や国庫支出金、町債などのお金(依存財源)は54.5%となりました。特徴としては、小学校改築事業費の減少に伴い、国庫支出金や町債が減りました。また、小学校改築建設基金を全額繰入れたので繰入金が増となりました。1人あたりにおきかえてみると、23万5685円入ったこととなります。1世帯あたりでは、98万7175円入ったこととなります。



町税

皆さんから納めていただいた税金は全体で6億2830万4千円。前年度と比較して4978万6千円、8.6%の増となりました。町民1人あたり5万9291円納めたこととなります。

☆税金で成り立つ日本の福祉と社会
小須戸中3年 響田由香
☆新しい明日のために納税を
小須戸中3年 木伏三枝
— 中学生の入選標語 —